

大河原 ロータリークラブ会報

会長：佐々木由美子 副会長：丸山 勝利 広報・IOC 委員長：佐藤 克美
幹事：鈴木 孝典 副幹事：高橋 英明 副委員長：佐藤 能文
委員：渡辺 和子



2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ

世界に希望を
生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

2023~2024年度RI会長 ゴードンR. マッキナリー
国際ロータリー第2520地区 森 川 昭 正
2023~2024年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

会長あいさつ

会長 佐々木 由美子

2024年5月9日(木) 第2686回 例会



皆さんこんにちは。そして事務局の清野さんお帰りなさい。

日常、当たり前と思っていたのが、急に変化したり変わってしまうと、変わる前の状況のありがたさが本当によくわかります。今回も事務局の清野さんがお休みされたことによって、いままで例会が普通に滞りなく運営できているのは事務局の清野さんがしっかり頑張ってくれたからなのだと改めて気づきました。そして事務局の大変さと有難さを身に染みて感じたところです。

また清野さん不在のあいだ、鈴木幹事はとても頑張ってくれました。感謝したいと思います。

さて、本日はゲストスピーカーに「柴田・角田地域訪問看護ステーション所長 であいらっしゃいます 渋谷 幸江さま」においでいただきました。渋谷様、本日はお忙しいところをありがとうございます。

訪問看護について関心がある方、私の他にも大勢いらっしゃると思いますので、スピーチをととても楽しみにしております。渋谷様後程どうぞよろしくお願いいたします。

そして今回は盛りだくさんの内容の例会でした。コウさん、スピーチありがとうございます。みんなそれぞれに興味を引かれた部分が違ったかもしれません。私の娘はコウさんの研究している情報の最先端の分野について勉強になったと言っていました。

私は豚肉を口にしない民族のご出身であることを知らなくて、今までの例会の食事は大丈夫だったか心配になってしまいました。

最後に、名もない花たちの会に募金協力ありがとうございます。代表の山下先生から募金箱に2万3千円頂きましたとお礼がありました。

6月開催の札幌のチャリティーコンサートのチラシを回覧しますのでご覧ください。





2024年5月16日(木) 第2687回
ガバナー補佐主催蔵王分区4クラブ 合同ゴルフコンペ・合同夜間例会





2024年5月23日(木) 第2688回 例会

皆さんこんにちは。

本日はゲストスピーカーに大河原町福祉作業所さくら所長 片山栄次さまをお迎えしております。「福祉作業所さくらの活動について」というテーマでスピーチを頂きます。片山様、後程どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、先週はガバナー補佐主催 4クラブ合同ゴルフコンペそして夜間例会でした。コロナ禍以来数年ぶりに行動制限のない状況で近隣のクラブ同士懇親を深めることが出来て、とてもいい合同例会を開催することが出来たと思います。

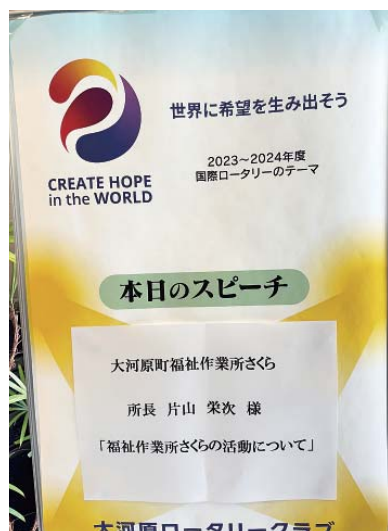
そして、4クラブ合同例会というひとつの大きなスケジュールも終わり、気が付いたら今年度の例会もあと5回を残すのみとなっております。まさに「光陰矢の如し」であると実感しているところであります。

来週末は次年度のための地区研修が盛岡で開催されますし、だんだん次年度へのタスキを渡す時期も近くなってまいりました。残すところ1か月少々、会員の皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

最後に、3週間遅くなってしまいましたが5月の記念会員を発表させていただきます。

誕生記念会員です。	3日 森 徹 会員	6日 岩間範男 会員	17日 武者昌洋 会員
結婚記念会員です。	2日 立石博政 会員	3日 佐藤能文 会員	5日 渡辺和子 会員
	12日 高城英男 会員	23日 奥林 潔 会員	

皆さんおめでとうございます。





2024年5月30日(木) 第2689回 例会

皆さんこんにちは。

本日はゲストスピーカーに さくま接骨院院長の咲間翔太さまをお招きいたしました。

接骨院について、いろいろ興味深いお話をお伺いできそうでとても楽しみです。咲間さま、後ほどどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、今月号のガバナー月信は皆さまご覧になりましたでしょうか。今回は青少年短期交換留学生の報告記事が掲載されています。その中から、まず青少年短期交換団長を務められました、仙台南ロータリークラブの佐藤仁さま、そして当クラブ推薦の田中倫裕さんの報告をご紹介させていただきます。

その他にも参加メンバー全員の報告が載っておりましたが、全てに共通するのが「成長と感謝」と感じました。

オクラホマ到着後はそれぞれに心配なことや、想定外のハプニング等もあったようです。でも、現地で過ごすうちに段々と言葉も生活も馴染んできて、貴重な体験もたくさん経験して成長できたこと。そして貴重な機会を与えてくれたすべての人に対して感謝の気持ちであること。それが参加メンバー全員の文章から伝わってきました。

さらにはどの生徒さんも、今回の貴重な体験が将来の自分の成長の糧となるものであることをしっかりと自覚されていて、田中さんを推薦させて頂いた当クラブとしまでも本当に喜ばしいことだと思います。

心の成長は人間性を磨く上で大事なものでありますが、仏教ではこのことを「お育て頂く」と言います。いろんなご縁によって自分の人間性を磨く機会に恵まれたということです。

今回は短期交換派遣生の推薦の段階から半年以上にわたる一連の流れの中で、活動経験と実績を積ませて頂いた大河原ロータリークラブとしても有難いご縁でお育て頂いたような気がします。

記事は電子版でも写真と共に見れますので是非ご覧頂きたいと思います。





青少年交換(短期)派遣 報告

青少年交換(短期)副委員長

団 長 佐藤 仁 Jin Sato (仙台南ロータリークラブ)

昨年に続き団長を務め、女子5名、男子3名の合計9名で、3月13日から27日まで、RI5750地区のオクラホマ州へ行って参りました。今回は、あらためてオクラホマの皆様の温かいホスピタリティを深く実感した、「有難い」経験となりました。というのも、行程の前半で派遣生が次々と体調を崩し、自分もダウン寸前という、チームとして非常にまずい状況に陥ってしまったからです。ロータリアンの支えのおかげで、みなで乗り切ることができましたが、派遣生たちもそれぞれに

得がたい価値ある経験ができたと確信します。今回満足できなかった様々な思いは、これから生きていく上での目標や夢へと繋がっていくでしょう。

両地区のロータリアンが築いてきた信頼関係の上に成り立っているこの短期交換プログラムは、もうすぐ50周年を迎えます。このプログラムを支え、関わってくださっている日米すべての皆様に心より感謝申し上げます。

■2023-24 年度 青少年交換 (短期) 派遣生

田中 倫裕 Tomohiro Tanaka



聖ウルスラ学院英智高等学校 2年 推薦RC:大河原RC

僕は、短期派遣生として約2週間アメリカのオクラホマへ短期留学をさせていただきました。オクラホマが僕の人生初の海外渡航になったこと、大変光栄に思います。

オクラホマでは、数多くの貴重な体験をさせていただくことができました。その中でも特に心に残っていることは、ホストファミリーの方々との交流とロータリーの例会です。僕は3軒のホストファミリーにお世話になり、どの家の方々にも本当の家族のように接していただきました。また、例会では、会員の方々の前でスピーチをするとても貴重な機会がありました。一方で、自分の英語の拙さに悔しい思いをすることもあり、より一層勉学に励もうと思いました。

最後に、今回の留学を支えてくださった団長の仁さんをはじめとするロータリアンの皆様、そして応援してくれた家族に感謝してもしきれません。皆様に恩返しができるようこの留学を糧に、より一層精進したいと思います。本当にありがとうございました。



スポンサー(中央の子)のお気に入りスポットで撮った一枚

